

把持鉗子（硬性）5Fr.

【形状・構造及び原理等】

構造・構成ユニット

1.構成

把持鉗子（硬性）5Fr.は、次の構成品目がある。

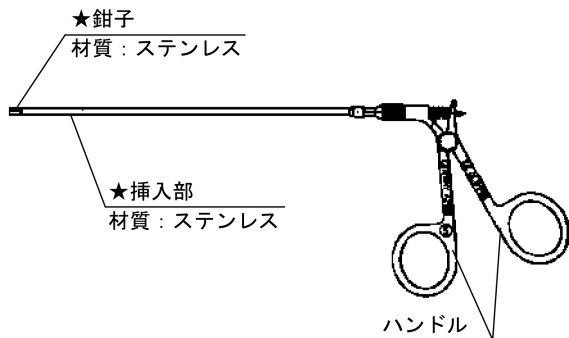
- ・ A2500 把持鉗子 5Fr.
- ・ A2574 把持鉗子 5Fr.（ダブルアクション）
- ・ A2575 把持鉗子 5Fr.（ダブルアクション）
- ・ A2592 把持鉗子 5Fr.

** *注）本製品は単品、または任意の組み合わせで製造販売する場合がある。

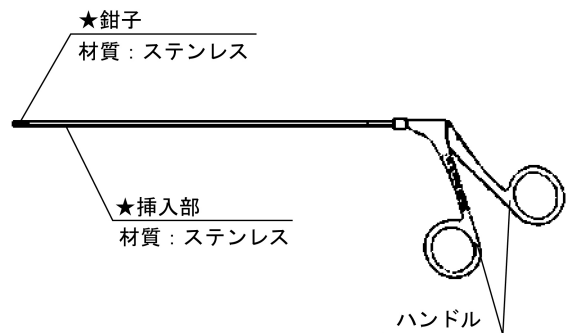
2.各部の名称

★は、使用中生体粘膜に触れる部分である。

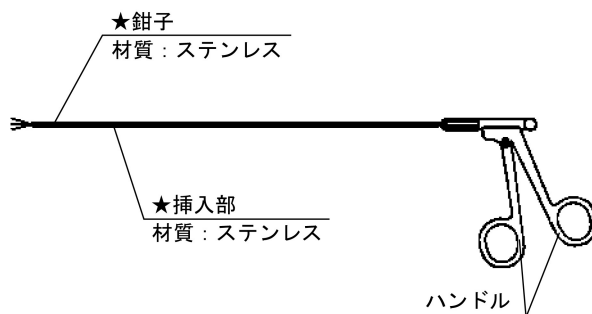
A2500



A2574
A2575



A2592



鉗子の形状

No.	形状
A2500	★ピン 材質：ステンレス
A2574	★ピン 材質：ステンレス
A2575	★ピン 材質：ステンレス
A2592	

*3.仕様

No.	挿入部有効長	挿入部最大径
A2500	570mm	Φ1.7mm
A2574	600mm	Φ1.6mm
A2575	600mm	Φ1.6mm
A2592	570mm	Φ1.7mm

作動・動作原理

ハンドルを操作することにより鉗子が開閉する。これにより組織や異物を把持、回収する。

*【使用目的又は効果】

使用目的

本品は、鏡視下で組織や異物の把持、回収を行うことを目的とする。

本製品の取扱説明書およびシステムガイド内視鏡下手術を必ず参照してください。

*【使用方法等】

使用方法

- 1.使用する前に適切な方法で滅菌する。
- 2.内視鏡の処置具チャンネルより鉗子を閉じたまま挿入し、目的部位へ誘導する。
- 3.内視鏡下で観察しながら組織や異物の把持、回収を行う。
- 4.使用後は1.項と同様の方法で滅菌を行う。

使用方法に関する詳細については、本製品の『取扱説明書』の「使用方法」を参照すること。

組み合わせて使用する医療機器

A2500、A2592 の挿入部最大径はΦ1.7mm である。また A2574、A2575 の挿入部最大径はΦ1.6mm である。各々に適合する処置具口金に使用すること。

使用方法等に関連する使用上の注意

- 1.鉗子先端部の破断、脱落や処置具チャンネルからの引き抜き不能につながるおそれがあるため、本製品を処置具チャンネルに挿入、抜去する際は、無理な力を加えないこと。挿入時に引っ掛かる場合は本製品をいったん引き抜き、変形などないか確認すること。
- 2.本製品を処置口金（A3339）と組み合わせて使用する際は、本製品の挿入および引き抜くとき、処置口金の処置具ストップコックは開いておくこと。
- 3.鉗子先端部のピンおよびその周辺部に、亀裂、ピンの落ち込みなどがある場合や鉗子が一度変形してしまった場合は、使用を中止すること。

【使用上の注意】

*重要な基本的注意

一般的事項

- 1.本製品は出荷時には滅菌していない。初回の使用の前に、【保守・点検に係る事項】の指示に従って洗浄、消毒、滅菌すること。
- 2.先端部は精密な部品で構成されている。鉗子先端部の破断、脱落、ハンドルの破損、処置具チャンネルからの引き抜き不能につながる可能性があるため、過大な力での開閉や結石、骨などの硬い組織の碎石やほかの機器の把持はせず、本製品の処置は術野が確保された状態で、慎重に行うこと。
- 3.本製品がシースから生体内に入る前に、鉗子先端部を開かないこと。
- 4.本製品の使用中に鉗子先端部の開閉動作が鈍くなった場合は、生体内から引き抜き、鉗子先端部の点検をすること。
- 5.シースから本製品を引き抜くときは、シースと本製品とのすきまに粘膜などを巻き込まないこと。
- 6.本製品をシースと一緒に引き抜かないこと。

*不具合

その他の不具合

破損、部品の脱落、変形、腐食、処置具チャンネルからの引き抜き不能

*有害事象

その他の有害事象

感染、穿孔、出血

*【保管方法及び有効期間等】

保管方法

使用後は、本製品の『取扱説明書』に従い、洗浄、消毒、滅菌を行い、保管すること。

耐用期間

1.A2500、A2574、A2575

本製品は消耗品（修理不可能）であり、本製品の耐用期間は製造出荷後（納品後）1 年または 100 症例のうち短い方である（自己認証（当社データ）による）。『取扱説明書』に従って使用前点検および定期点検を実施し、必要であれば新品と交換すること。

2.A2592

本製品は消耗品（修理不可能）であり、本製品の耐用期間は製造出荷後（納品後）1 年である（自己認証（当社データ）による）。『取扱説明書』に従って使用前点検および定期点検を実施し、必要であれば新品と交換すること。

***【保守・点検に係る事項】

洗浄、消毒、滅菌

- 1.使用前、または毎症例後直ちに、1 本 1 本別々に分解してから洗浄、消毒、滅菌を行うこと。手順および条件は、『取扱説明書』の記載に従うこと。本製品は超音波で洗浄しないこと。また、使用現場から洗浄を行う場所へ運搬時は、挿入部の付着物を柔らかいガーゼでふき取り、機器を分解して運ぶこと。
- 2.『取扱説明書』に記載の、洗浄、消毒、滅菌に使用できる薬剤を使用すること。それ以外の薬剤については、オリンパスに問い合わせること。
- 3.本製品は、滅菌の前に十分に洗浄、消毒、乾燥させ、滅菌効果を妨げる微生物や有機物を除去すること。
- 4.どんな薬液にも 60 分以上浸漬しないこと。
- 5.残留液を洗い流す際は滅菌水を使用すること。滅菌水を使用できない場合は、飲料水またはフィルターによって微生物が除去された水を使用すること。
- 6.下記の手順で用手洗浄を行うこと。
 - (1)本製品を水（20℃以下）で洗浄する。なお、ほかの機器と一緒に洗浄しないこと。
 - (2)汚れが落ちにくい場合には、医療用で低泡性の中性洗剤を使い、ぬるま湯の中で洗浄する。ハンドルを定位置から作動させ、そのすきまの部分を十分に洗浄すること。なお、洗浄時に洗浄液を過度に泡立たせないようにすること。
 - (3)目視で、付着物がすべて除去されるまで、上記洗浄作業を続ける。
 - (4)本製品を洗浄した後、滅菌水で洗浄液を洗い流す。
 - (5)本製品を水切りする。
 - (6)ガーゼなどを使って残っている水をふき取る。
- 7.下記の手順で高圧蒸気滅菌を行うこと。

前真空排気工程付き高圧蒸気滅菌装置を使用し、前真空排気工程の後、機器を 134℃で 5 分間高圧蒸気滅菌することを推奨しており、132℃、60 分の高圧蒸気滅菌に対する耐久性は保証していない。また、高圧蒸気滅菌の温度は 138℃を超えないこと。なお、高圧蒸気滅菌可能な当社の製品は、以下の規格に基づいた高圧蒸気滅菌ができる構造になっている。

 - 米国規格 ANSI/AMMI ST46:1993
 - 英国規格 BS 3970
 - 欧州規格 EN 285
- 8.本添付文書および本製品の『取扱説明書』に記載している洗浄、消毒、滅菌方法では、クロイツフェルト・ヤコブ病の病因物質とされているプリオンを消失もしくは不活化することはできない。クロイツフェルト・ヤコブ病または変異型クロイツフェルト・ヤコブ病患者に本製品を使用する場合は、クロイツフェルト・ヤコブ病または変異型クロイツフェルト・ヤコブ病患者専用の機器として使用するか、使用後に適切な方法で破棄すること。クロイツフェルト・ヤコブ病への対応方法は、種々のガイドラインに従うこと。なお、本製品は、一般に示されている、プリオンを消失もしくは不活化する方法に対する耐久性が全くない、または、十分な耐久性がない。

本製品の取扱説明書およびシステムガイド内視鏡下手術を必ず参照してください。

使用者による保守点検事項

使用前点検および定期点検（6 か月に一度）において、以下の事項を点検すること。点検結果により必要であれば新品と交換すること。

1. 製品に腐食、へこみ、亀裂、曲がり、スリキズがないこと。
2. 鉗子先端部のピンおよびその周辺部に、磨耗、亀裂、ピンの陥没などがないこと。
3. 洗浄剤や消毒剤が残っていないこと。
4. 不足の部品や緩んでいる部品がないこと。
5. ハンドルを動かして、鉗子先端部がスムーズに開閉できること。
必要に応じて可動部分に潤滑剤を必要最低限塗布すること。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：

オリンパスメディカルシステムズ株式会社
〒192-8507 東京都八王子市石川町 2951

お問い合わせ先
TEL 0120-41-7149（内視鏡お客様相談センター）

外国製造元：

オリンパス ウィンター アンド イベ社
OLYMPUS WINTER & IBE GMBH
国名：ドイツ連邦共和国

本製品の取扱説明書およびシステムガイド内視鏡下手術を必ず参照してください。